

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名 成田市立公津の杜中学校

1 学校教育目標

未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成 ～自信をもって生活することを目指して～
 ○本校の一員としての自覚と誇りをもち、「杜中でよかった」と心から言える生徒
 (1) 自ら進んで粘り強く学習に取り組む生徒 (知育)
 (2) 気持ちの良い「挨拶・返事・清掃・合唱」を大切にする心豊かな生徒 (徳育)
 (3) 心身ともに健康で、思いやりのある生徒 (体育)

2 本年度の重点化された具体的な目標

経営の重点「認め、ほめて伸ばす指導」
 1 生徒のがんばり、地道な努力を見逃さず認め、ほめる
 2 職員が情報を共有し、多くの職員で認め、ほめる
 3 生徒の活躍の場を意図的に創出し、認め、ほめる

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育方針 教育課程	①学校経営方針に基づき、教職員の協力により円滑な学校運営がなされている。 ②子供は「公津の杜中でよかった」と感じていますか。	①教職員の肯定的評価 97.1% (6年度93.9%) ②保護者の肯定的評価 92.0% (6年度91.0%)	A	経営重点の「認めほめて伸ばす」方針を一層推進する。特に、教職員間で情報や教育的課題を円滑に共有し、組織的に称賛できるよう体制を強化する。
学習指導	①先生は学習で自分が努力したところを認めてくれる。 ②自ら進んで、粘り強く学習に取り組む事ができている。	①生徒の肯定的評価 85.9% (6年度84.4%) ②保護者の肯定的評価 70.3% (6年度67.1%)	B	教育活動における努力の認知、掌握、共有化を図るとともに活躍の場を創出する。端末機を活用した効果的な授業実践と家庭での活用の習慣化を奨励する。
安全・安心な学校	①登下校指導を含め交通安全指導について努力している。 ②いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	①保護者の肯定的評価 88.7% (6年度90.9%) ②保護者の肯定的評価 76.0% (6年度73.1%)	B	登下校の交通安全を重要課題に位置づけ、安全教育を強力に進める。また、いじめや暴力行為に対する状況把握を適切に実施し、迅速な対応に努めたい。
生徒指導	①自分なりに頑張った事を先生が認めてくれうれしかった事がある。 ②問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている。	①生徒の肯定的評価 95.3% (6年度95.0%) ②教職員の肯定的評価 91.7% (6年度91.4%)	A	認めほめる意識は微増だが向上している。問題行動への対応には、危機管理の意識と管理職の掌握を徹底し、組織的な体制を強固して臨む。
特別支援教育	○特別支援教育の理念を踏まえ、障がい等の特性をよく理解して個々の教育的ニーズに応じた教育活動を行っている。	○教職員の肯定的評価 100% (6年度90.3%)	A	人権教育に基づくインクルーシブ教育を具現化した交流の機会を引き続き創出する。加えて、教職員の特別支援教育に対する学びの機会を推進する。
家庭・地域との連携	①子供の事で気になる事があった時、学校に相談しやすいと感じる。 ②各種便りや学校HP等で学校の様子や進路情報などの必要な情報を得られる。	①保護者の肯定的評価 73.4% (6年度74.4%) ②保護者の肯定的評価 88.6% (6年度91.6%)	B	相談体制を一層充実させるとともに、保護者のニーズを意識した情報発信に努める。各種発行物の電子配信化を一本化させ浸透させる。

4 自己評価の結果の分析

生徒アンケートでは、「努力を認めてもらえる」意識が微増した結果となった。更に生徒の興味を高め、関心を引きつける授業実践や指導方法の工夫・改善に努めていきたい。
 保護者アンケートでは、「生徒指導に関すること」と「相談しやすさ」の評価が他と比べて低い。生徒の発する「心のSOS」を敏感に察知できるスキルの研鑽を積み重ねたい。「学習指導」については学校と家庭の情報連携を重視し、保護者との指導方針の共有を大切にいく。
 加えて、タブレット端末を家庭学習や家庭連絡としての活用位置づけしていく。問題行動への対応は組織的かつ迅速・丁寧を念頭に置き、既存の体制と機能を強化していく。
 「特別支援教育」に対する職員の理解が格段に向上した背景には、コーディネーターや支援員をはじめとした関係スタッフのきめ細かな関わりと、通常級スタッフの特別支援教育に対する理解が深められた事があると考えられる。今後も、誰もが安心して学校生活を過ごせる方策を具現化し、学校教育目標にも明確に位置づけていきたい。